

佛敎論理學

文學博士 村上專修
境野黃洋 共著

本書は先年著者の一人村上博士が公にされたる「因明學全書」を基礎として、大疏や瑞源記などの文を取り交せて境野氏が著はされたものである、茲に謂ふ佛敎論理學とは即ち因明の事であつて、この因明を知らずして佛敎各理の解釋理解を得んとする事は恰も道を知らずして目的地に達せんとするの同様である事は今更いふまでもない、然るにこの因明に關し獨立の著書として我國語を以て書かれたものは實に曉天の星とでも言はなければならぬ状態て、我國一般學佛者の大に恨みとする所であつた、勿論漢譯や支那出來のものとしては相當に多くあるが、併しそれ等の難解難入なる事は我國人に取りて佛敎經論中最も甚だしきものゝ一であると言つても敢て過言でないといふ程度のもので、佛敎専門の學者すら之に指を染むる事は中々容易の業ではないとせられて居た、況や學佛初學者の者に於てをやである。この時に當りて本書の出現は實に、我學佛界延ては我思想界の慶事と言はなければならぬ。

本書收むる所序論七章十六項、本論二章十節五十一項、因明學科の起原より説き起し、その経歴に就ては創造、改新、傳承、應用の諸方面より研究し、もと婆羅門敎六大學派中の尼耶也派より出でたる因明學を以て佛敎論理學と稱して至當なる理由を反復叮嚀に之を説明し、更にその範圍を廣むる時は之を以て東洋論理學といふも可なるべしとし、而してその之を以て佛敎論理學となす

ものは主としてその後代の歴史的關係に由るものにして、その中に特に主要の地位を占むるものは因明學の改新にありとし、今日吾人の學ぶべき因明學はその佛敎者の手を以て改新されたる因明即ち古因明に對する新因明にして、その古因明に對する新因明の論式に就ては、(一)五段論式を三段論式に革新せし事、(二)三段論式の中に宗を所立とせし事、(三)第一段の宗に就て宗依と宗體との辨別をなせし事、(四)第二段の因に就て三相の具闕を攻究せし事、(五)第三段の喩に就て喩依と喩體との辨別をなせし事等を説き、西洋論理學と因明學とを比較しその差異點の主要なるものとしては、(一)三段論法は思考の法式にして因明は談論の規定なり、(二)三段論法は斷案を演繹し因明は斷案を證明す、(三)三段論法は思考の正當を目的とし因明は勝敗を目的とす、(四)三段論法は因明の如く過失論に重きを置かず、(五)三段論法は因明の如く歸納的の加味を含まず、等と説き、西洋論理學が所謂自悟的なるがために論式の組織が大前提に初まりて斷案を最後に列ぬるに反し、因明學は所謂悟他的結果先づ一個の斷案を提出して最後に大前提を列ぬるといふ相違ある事を詳細に説述されてある。今試みに三段論法と因明の三支作法とを對照すれば

西洋論理學

凡べて東京人は日本人なり(大前提)
或る人は東京人なり(小前提)
故に或る人は日本人なり(斷案)

或る人は日本人なり(宗) 斷案)

因明學

凡べて東京人なるものが故に(因) 小前提)

東京人なるものが故に(因) 小前提)
凡べて東京人なるものは皆日本人なりと見よ(喩體)

大前提(譬へば餘の東京人の如し(喰依)喰)

西洋論理學と因明學との主なる差異點は大凡以上の如くであるが、斯くの如き差異あるにも係らず、同じく之に附するに論理學の名を以てし、共に之を形式論理の類なりといふにつきては亦必ず彼此同一の點がなくてはならぬ、著者はその同一點として、(一)論式の三段なる事、(二)一般より一部に推論する事、(三)既知より未知に及ぶ事の三條を擧げて居らるゝ、次に因明の意義、五問四記答、八大部門を陳述し、比量、表證進證、有體無體、全分一分の四項を以て論法の種類とし、次に因明學の本論たる眞能立及び似能立に關して例證圖解詳密に紹介論述されてある。我國一般學者に取りて佛敎研究上一好著と言つて差支ないと思ふ。

最後に若しかういふ事が願ひ得るものだとすれば、本書用ふる所の因明學特有の術語に對し、附録とか索引とかの編裁を以て、初學者のために簡單平明なる一般的解釋が施して欲しかつたと言

ふ事を附け加ふる事を許して貰ひ度い。東京丙午出版社發行、菊版三四四頁、定價金壹圓七十錢。【木田義英】

寄贈書籍雜誌

兩譯 大乘起信論 隈部慈明氏編 法藏館
對照 大乘起信論 隈部慈明氏著 同

哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、無盡燈、東亞之光、六條學報、早稻田文學、學校教育、教育、內外教育評論、教育研究、教育學術界、教育界、教育時論、東京教育、奈良縣教育、靜岡縣教育、滋賀縣教育會雜誌、三重教育、岐阜縣教育、愛知教育雜誌、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、盛備教育、宮城教育、愛媛教育、山形縣教育、秋田縣教育雜誌、文化運動、制作、理科教育、

前 號 目 次

ロダンに於ける肉體的と精神的	文學士 植田 壽藏
生命と思辨	文學士 久保 正夫
奥義書と起信論(完結)	文學士 羽 溪 了諦
心理學と客觀的方法(承前)	文學士 榎崎 淺太郎
彙報—新著紹介	